

**研究会（特別編）印象記（速報版）**  
**—ソフィアステイシア自主防災会総合防災訓練—**

## 1 概要

2015年12月6日（日）に神奈川県横須賀市にあるマンション「よこすか海辺ニュータウン ソフィアステイシア」の自主防災会の企画で2015年度総合防災訓練が実施された。同自主防災会は、2014年度内閣府地区防災計画モデル事業の対象地区であり、全国で初めてマンションにおける地区防災計画が作成された地区である。今年度の訓練は、1703年の元禄地震の再来を想定して実施されており、冒頭から横須賀市長や市消防局長等の多くの行政関係者も参加し、行政と地域住民が一体となった形で実施された。



## 2 地域特性

ソフィアステイシアは、神奈川県横須賀市平成町一丁目にある2003年に竣工された4棟のマンションであり、309世帯・約1,000人が居住している。海岸から200mに位置しており、相模トラフ、南海トラフ等で地震が発生した場合には、津波による被害が懸念されている。

そのため、マンションの区分所有者によって構成されたマンション管理組合と占有者を含む居住者によって構成されたマンション自治会が2005年にソフィアステイシア自主防災会を結成し、毎年テーマや想定災害を変えて防災訓練を実施している。

なお、同マンションのある平成町一丁目付近は、高級マンションが多く、海上自衛隊横須賀地方隊に勤務する自衛隊の関係者等が多く居住しているほか、アメリカ海軍の基地にも近いことから、アメリカ海軍の将校等もこの付近に多く住んでおり、居住者の1/10が外国人であり、看板等も英語で標記されている。

そのようなこともあり、同自主防災会は、海上自衛隊の一等海佐（大佐）等も入って構成されており、デジタル無線等でのやり取りも自衛隊方式が導入されているほか、英語によるアナウンスや標記の導入等外国人にも配慮した活動を行っている。

同自主防災会が、2014年に作成した「地区防災計画」では、全世帯を11班に分けて、緊急時の点呼や避難等を行うこととしている。また、防災資機材等の整備については、毎年数百万円の予算を使用しており、周囲約5kmを通信範囲とする約40台のデジタル無線機を所有しているほか、チェーンソーや

発電機等の資材を置くための複数の大型倉庫、発災時の初動対応マニュアルや防災グッズを収納した各階の防災箱等が準備されている。

また、近隣の商業施設利用客等の避難を受け入れるため、市と津波避難ビル協定を締結する準備を進める等共助による地域継続的な取組も実施している。



### 3 住民と行政が連携した高度な訓練

房総半島野島崎沖を震源とする 1703 年の元禄地震（諸説あるが、地震による火事等により、関東地方で 20 数万人の死者を出したといわれている。）の再来を想定した今回の訓練では、同地区の震度は 6 強、津波の最大波高は 3.9m で地震発生から 20 分後に第一波が到達するという想定で実施された。

朝 9 時より開始された同訓練には、125 世帯が参加した。サイレンを合図に、日本語及び英語によるアナウンスが流れ、居住者はマンションの 6 階以上の高層階へ迅速に避難した後、各階・各班で居住者の点呼と安否確認を実施し、災害対策本部に報告するという方式が取られた。

津波避難訓練終了後の芝生広場では、マンションの住民によって災害用トイレやテントが設置され、その設営や撤収の訓練が行われた。また、地域住民自身による高層階からの避難ハッチを使用した脱出訓練が実施された。さらに、横須賀中央消防署からは、大型のはしご車等が派遣され、13 階から実際に地域住民を救助する訓練が実施されたほか、子供を含む地域住民による応急救護訓練（AED 心肺蘇生訓練）、水消火器による消火訓練を消防官が丁寧に指導し、一緒に炊き出し訓練・給食訓練を行う等行政と地域住民が密着した実践的な訓練が実施された。



#### 4 行政関係者による訓練講評等

訓練講評は、西澤雅道地区防災計画学会会長代理（内閣府企画調整官）、中村照世志横須賀市消防局長（消防正監）、渡邊慎治横須賀市中央消防署長（消防監）、平井毅横須賀市市民安全部長によって行われたが、いずれも、全国のマンションに先駆けて作成された同地区の地区防災計画の歴史的な価値、地域住民により実施された本訓練のレベルの高さ、現在の良好な地域コミュニティの関係を大事することや発災時に備えこのような訓練を継続させ、全国にこの取組を広めることの重要性等を指摘するものであった。

なお、当日の訓練は、地区防災計画学会の関係者のほかに、東京、神奈川及び埼玉の自主防災組織の役員、ケーブルテレビの関係者等が見学したが、同マンションの安部俊一よこすか海辺ニュータウン連合自治会会長が終始丁寧に対応し、多様な質問にも詳細に回答していた。



（専修大学客員研究員 金思穎）